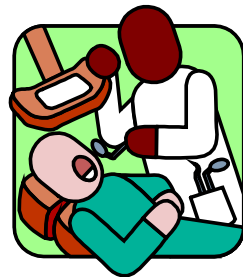


口は健康のもと Vol.95

歯の治療が苦手な方 鎮静法で楽々治療

歯の治療のときの削られる音、口の中にする麻酔の痛みが本当に嫌で、歯科医院に通院出来ない方がいらっしゃいませんか？ また、歯の詰め物や入れ歯の型を採る材料がお口の中に入ってきて「おえっ」となり、型が採れなかった経験はございませんか？ 本来、この「おえっ」というのは、異常なことではなく体の防御反応のひとつで、体に入ってきた異物を排除しようとする反射で、嘔吐（おうと）反射や絞扼（こうやく）反射といわれております。

これらの反射が過剰に起きると、歯の治療に支障をきたしてしまいます。しかし、こういう方には精神をリラックスさせて恐怖心や異常絞扼反射を減少させる精神鎮静法という方法が適しています。これらの方法には、笑気ガスを用いて鼻から吸う笑気吸入鎮静法と、点滴によって血管内にお薬を投与する静脈内鎮静法があります。これらは全ての患者さんに行なえるという訳ではなく、全身の状態、持病の有無とその程度、アレルギー等などを医療面接（問診）した上で決定します。町の歯科医院で精神鎮静法を行なわれている先生もいますし、また歯科大学病院でも行なっておりますので、歯の治療が苦手な方はご相談ください。



奥羽大学歯学部附属病院

歯科麻酔科 助教 伊藤 寛

